

新型コロナウイルス感染拡大防止 集中対策

(6/21~7/11)

令和3年6月17日

1

- 本日は、本県への緊急事態宣言が
6月20日をもって解除されることを受け、
6月21日以降の集中対策についてご説明します。

分科会参考指標

公表日別の県市別分科会参考指標

6月10日(木)～6月16日(水)の1週間

分科会参考指標	広島市	東広島市	廿日市市	広島県	広島県 (左記3市除く)	ステージⅢ	ステージⅣ
療養者数(10万対)(人)	21.6	—	—	13.6	—	15人以上	25人以上
新規報告者数(10万対)(人)	12.2	11.1	9.4	7.2	1.8	15人以上	25人以上
PCR陽性率(7日間)(%)	4.3	—	—	2.0	—	10%以上	
直近1週間の感染者数(人) (上段は先週1週間)	199 146	24 21	16 11	285 202	46 24	先週より多い	
感染経路不明割合(%)	28.8	23.8	9.1	31.2	62.5	50%以上	
病床のひっ迫具合(%) (最大確保病床数)	同右			11.9	同左	1/5以上	1/2以上
病床のひっ迫具合(%) (現時点確保病床数)	同右			11.9	同左	1/4以上	
重症者用病床のひっ迫具合(%) (最大確保病床数)	同右			32.1	同左	1/5以上	1/2以上
重症者用病床のひっ迫具合(%) (現時点確保病床数)	同右			32.1	同左	1/4以上	

※県把握情報をもとに作成(後日若干の修正が行われる可能性あり)
 ※PCR陽性率は6/6～6/12の7日間(把握している最新情報)について作成
 ※広島市分のPCR陽性率には、広島市の関係例で医療機関において検査した結果を含まない
 ※感染経路不明割合は7日移動平均
 ※重症者用病床に6/16現在18名、重症者病床は最大56床確保(県全体)、現時点で56床確保(県全体)

2

- まず、感染状況ですが、こちらは分科会参考指標です。
- 様々な指標が改善傾向を維持しています。
- 直近1週間の人口10万あたりの新規報告者は、県全体で7.2、広島市で12.2となっており、広島市においてもステージⅢの目安である15を下回っています。

これまでの推移予測と結果



- これまでの推移予測と結果です。
- 5月中旬までの感染拡大期には、新規感染者の増加を、前週と比較して1.8倍で予測し、結果は平均1.7倍で増加しました。
- 感染のピークについては、県民の皆様の対策の効果により、予測よりも低い値に抑えることができました。ありがとうございます。
- 一方、感染が減少傾向に転じる際には、減少比率0.8で減少すると予測していました。
- 当初の予測よりも早い速度で減少していますが、直近は、前週比0.7であり、減少スピードが鈍化してきています。

市町別感染状況

市町別直近1週間の人口10万人あたり新規報告数(6/16時点)

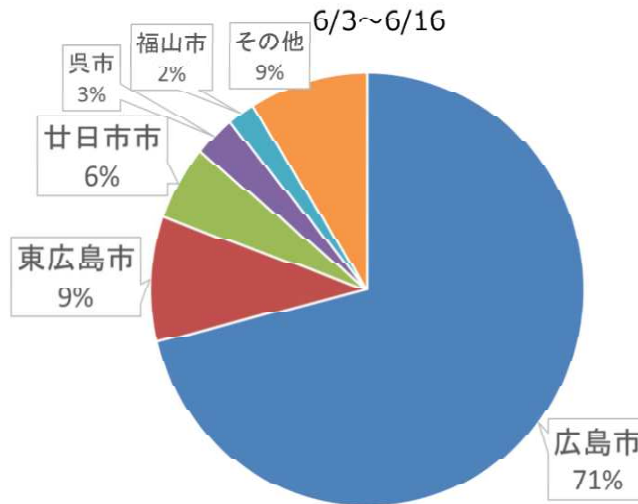
	安芸太田町	北広島町	安芸高田市	三次市	庄原市	
	0.00	0.00	0.00			
廿日市市	広島市	府中町	東広島市			神石高原町
		5.75		0.00	2.87	0.00
		熊野町		世羅町	府中市	福山市
9.38	12.21	8.36	11.12	0.00	0.00	
大竹市	海田町	呉市	竹原市	三原市	尾道市	
3.73	9.94	2.70	3.98	1.07	0.00	0.21
	坂町					
	15.46	江田島市	大崎上島町			
		8.72	0.00			

感染状況が比較的高い水準にあり、人口規模が大きいのは
広島市、東広島市、廿日市市

4

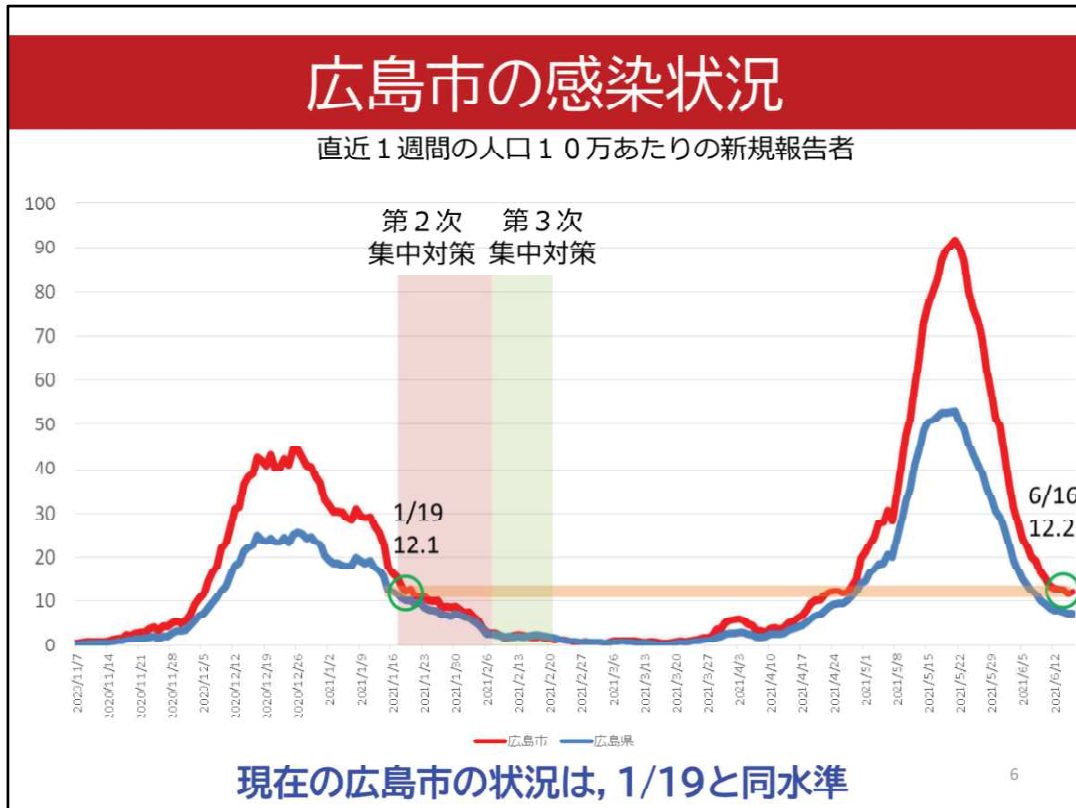
- こちらは市町別の感染状況です。
- 人口規模が10万人を超える市町の中で、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告者数が、県独自警戒基準値である4を上回っているのは、広島市、東広島市、廿日市市の3市となっています。

新規感染者の割合

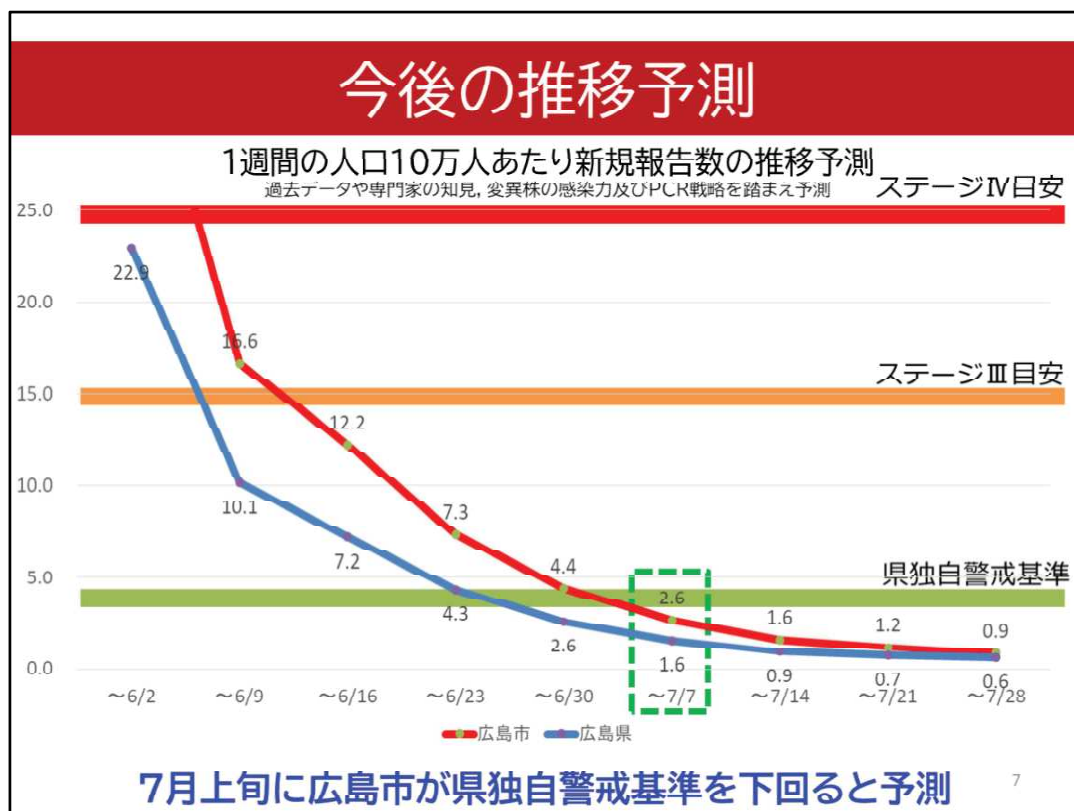


県全体に占める割合は、広島市、東広島市、廿日市市の順に多い

- 直近2週間の新規感染者の内訳を確認すると、県全体に占める割合が、広島市、東広島市、廿日市市の順に高くなっています。特に、広島市は県全体の約7割を占めています。

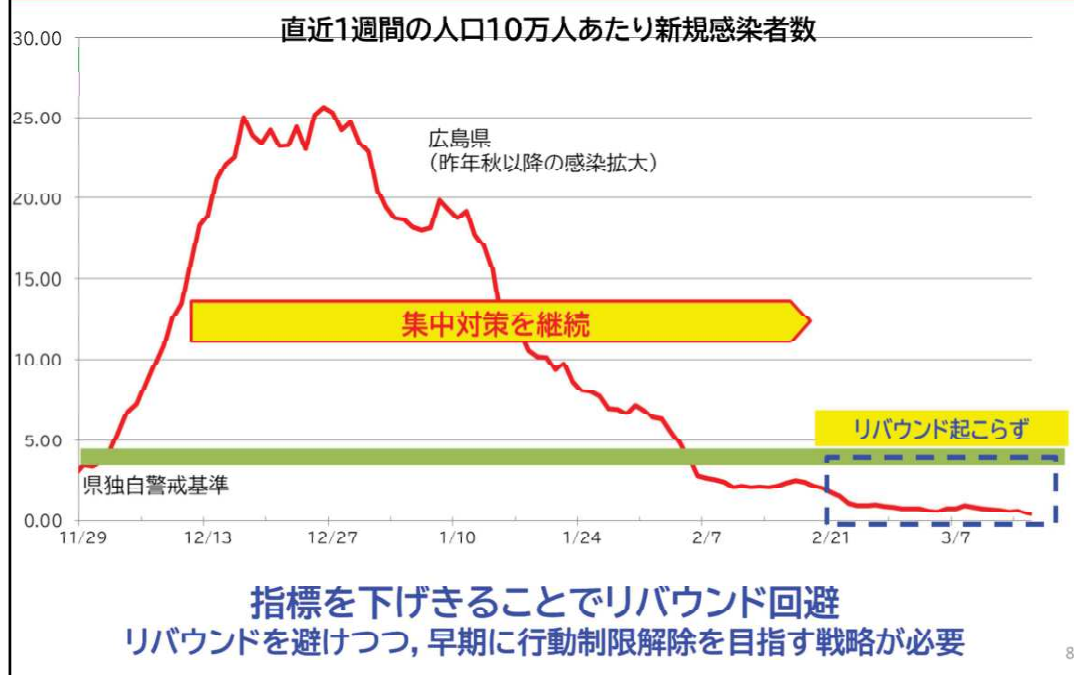


- 最近の感染状況は、
5月上旬と比較して非常に低い印象を受けます。
- しかし、
広島市の直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数は
1月中旬と同程度であり、高い水準です。
- しっかりと減少させていくことが非常に重要となります。



- 直近の減少スピードが鈍化してきたため、
保守的に見積もって、
県全体の今後の推移について、前週比0.8を**基本とし**、
PCR戦略などを加味して、想定しています。
- 直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数が
県の独自警戒基準値である4.0を下回るのは、
6月下旬と予測しています。
- 一方、県全体の新規感染者の多くを占める広島市について、
直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数が
県の独自警戒基準値である4.0を下回るのは、
7月上旬と予測しています。

リバウンド(再拡大)のリスク



- 昨年秋以降の広島県での感染拡大の際には、直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数が県独自警戒基準値である4.0を安定的に下回るまで集中対策を実施しました。具体的には、対策終了日である2月21日は、県全体で1.8、広島市で1.3となっています。
- その結果として、リバウンドを避けることができたと考えています。リバウンドを避けることで、再度の行動制限が避けられ、長期的にみれば行動制限の期間も短くなります。
- そのため、対策の継続が重要ですが、一方で、感染を抑え込むための行動制限を長期化させることも避けたいと考えています。

今後の対応

全県でステージⅢ

安定的に警戒基準値を下回る水準まで

集中対策を実施します

(期間 6/21～7/11)

9

- 専門家の意見や感染状況から、全県でステージⅢとします。
- 感染を徹底的に抑え込み、
全県で安定的に警戒基準値を下回る水準にするため
集中対策を実施します。
- 期間は6月21日から7月11日までです。

対策と考え方

引き続き全県で 外出半減の徹底

⇒ 人と人との接触の8割削減

10

- 集中対策期間中の対策と考え方ですが、引き続き、これまでどおり、全県で外出半減を徹底し、人との接触を8割減とします。

広島市, 東広島市, 廿日市市への対策

他地域と比較して十分な改善が見られない



- ・特に人出抑制対策が必要
- ・累積で「飲食」による感染多い



酒類提供飲食店へ時短要請

11

- 広島市, 東広島市, 廿日市市については, 他地域と比較して十分な改善が見られないため, 特に人出を抑える対策が必要です。
- また, これまで「飲食」をキーワードにした感染が多く出ており, リスクが高い感染経路といえます。
- こうした状況から, 3市のお酒を提供する飲食店へ時短営業を要請します。

累積経路の多い順は, 「家庭」に次いで「飲食」「職場」となる。休業している期間も含めているため, もし休業要請が無ければ「職場」より「飲食」が多いと推察。「家庭」はコントロールが難しい。

飲食店への時短要請

対象: 広島市, 東広島市, 廿日市市の酒類を提供する飲食店

区分	第3期 6月21日～7月11日(21日間) <small>※感染状況の改善に伴い、要請期間を変更する場合がある。</small>	
要請内容	・営業時間を 5～20時に短縮(酒類の提供は11時から19時まで) ※利用者による酒類の店内持込を含む。	
支給単価	<small>単位: 万円</small>	
	中小企業	大企業
時短	2.0～7.0/日	最大19/日
休業	2.5～7.5/日	最大19.5/日
支給要件	・「広島積極ガード店」「新型コロナウイルス感染症対策取組宣言店」の登録 ・通常営業時間が20時を越える飲食店 ・「飲食店営業」許可証(「1類」または「3類」)をもっていること	

12

- 要請の内容は、5時から20時までの営業時間短縮と、そのうち、お酒の提供時間は19時までとします。
- 金額や要件はご覧の通りです。
- また、飲食店の要請変更に伴い、広島市、東広島市、廿日市市以外の飲食事業者は協力支援金の対象外となりますが、7月以降、県内の時短要請が継続している場合には月次支援金の対象となります。

【広島市, 東広島市, 廿日市市】施設の使用制限 集客施設

規模に関わらず, 営業時間短縮の働きかけ

施設の種類	施設の例	働きかけの内容
劇場等	劇場, 観覧場, 演芸場, 映画館 等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5時から20時までの営業時間の短縮 ただし, 生活必需物資の小売関係及び生活必需サービスを営む店舗を除く ・ イベントを開催する(映画館の上映含む)場合は, 21時までの営業時間の短縮 ・ 施設内での酒類提供は11~19時まで (利用者による持ち込みを含む)
集会・展示施設	集会場又は公会堂, 展示場 等	
ホテル・旅館	ホテル又は旅館(集会の用に供する部分に限る。)	
運動施設等	体育館, スケート場, 水泳場, 屋内テニス場, 柔剣道場, ボウリング場, テーマパーク, 遊園地, 野球場, ゴルフ場, 陸上競技場, 屋外テニス場, ゴルフ練習場, ハッティンク練習場, スポーツジム, ホットヨガ, ヨガスタジオ 等	
博物館等	博物館, 美術館 等	
商業施設	大規模小売店, 百貨店, ショッピングセンター 等	
遊技施設	マーチャン店, パチンコ店, ゲームセンター 等	
遊興施設	個室ビデオ店, 射的場, 勝馬投票券販売所 等	
サービス業 (生活必需サービス除く)	スーパー銭湯, ネイルサロン, エステサロン, リラクゼーション 等	
結婚式場	結婚式場	

13

- 続いて, 人が集まる施設への使用制限ですが, 広島市, 東広島市, 廿日市市の施設に20時までの営業時間短縮を働きかけます。

イベントの開催要件

- ① 6月18日から20日までを周知期間とし、**6月21日以降のイベントに適用**
 ※6月20日までの間にチケットが販売されたイベントについては、周知期間終了時点までに販売されたチケットに限り、上記の要件を適用せず、チケットをキャンセル不要と扱うこと。周知期間中及び終了後、要件を満たさないイベントのチケットの新規販売は行わないこと。
- ② **21時までの時短を働きかけ**
- ③ **【収容定員に収容率(A)をかけた人数】と【人数上限(B)】の少ない方を限度とする**

収容率(A)		人数上限(B)
歓声・声援等が想定されないもの ・クワンソウコンサート ・演劇、寄席、古典芸能等 (雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、講談、落語等) ・展示会 等 100%以内 (収容定員がない場合は十分な間隔)	歓声・声援等が想定されるもの ・ロック、ポップコンサート ・スポーツイベント 等 50%以内 (収容定員がない場合は十分な間隔)	広島市、東広島市、廿日市市 5,000人 3市以外の市町 5,000人又は収容定員の 50%以内(≦10,000人)の いずれか大きい方 ※2

※2 緊急事態宣言解除後1か月程度の経過措置として、7月12日以降も継続する。

イベント主催者の方へ

変異株の流行を踏まえ、マスク常時着用、消毒、3密回避の徹底、マイクロ飛沫対策として十分な換気などの徹底をお願いします。

14

- **続いて、イベント等についてです。**
6月21日からは、ご覧の内容を要件とします。
- **・21時までの時短営業の働きかけ**
 - ・人数上限が、市町によって異なること
 - ・大声が想定されないイベントの収容率を100%に引き上げることが今回の主な要件です。

感染の抑え込み 2つの戦略

1. 人と人との接触の8割削減を継続

⇒ 接触機会の削減で、感染の減少を図る

2. 検査強化で感染の連鎖を早期遮断

・事業所PCRの再開

⇒ 感染者が発生した事業所に対する幅広い検査

・臨時スポット

⇒ 陽性率の高いスポットで無症状者に検査

15

- 改めてになりますが、今回の集中対策で感染を徹底的に抑え込み、早く行動制限を解除したいと考えています。
- そのための戦略は2つです。
- まずは人との接触の8割削減の継続です。接触機会を減らすことで、警戒基準値を安定的に下回る見込みになるまで感染を減少させます。
- 2つめは、検査強化による感染連鎖の早期遮断です。
- 保健所検査に加えて幅広く検査を行う事業所PCRや、陽性率の高い広島駅や流川などの臨時スポットでの検査によって、早く陽性者を発見して、その先の拡がりを防ぐことで、感染の減少スピードを加速させます。

全県民への要請①

外出半減の徹底

16

- こうしたなか、
全県民の皆様には接触機会の削減のため、
引き続き、お一人お一人の外出を半減してください。
- 自粛疲れもあるかもしれません。
- なぜ全県で、と思うかもしれませんが、
まだ現時点の感染状況では
十分に抑え込んでいるとは言えない水準です。
- 全員でもうひと頑張りが必要です。

県民への要請①

- ・生活必需品の買い物を含め、週末・平日に関わらず、外出は半分に（通院, 通勤, 通学を除く）
- ・広島市, 東広島市, 廿日市市は、20時以降は外出しない
- ・やむを得ず外出する時は、2メートル以上距離をおく

17

- 具体的には、ご覧の通りです。
- 通院, 通勤, 通学は除いて週末平日に関わらず外出を半分にしてください。
- 広島市, 東広島市, 廿日市市の方は、20時以降は外出しないでください。

県民への要請②

- ・県をまたぐ移動は最大限自粛
特にまん延防止等重点措置地域との往来はしない
- ・県内は広島市, 東広島市, 廿日市市との往来に注意
- ・同居家族以外との食事はしない
- ・広島市, 東広島市, 廿日市市では,
飲食を主とするお店のカラオケの利用はしない

- 続いて移動についてです。
- 県をまたぐ移動は最大限自粛してください。
特に、まん延防止等重点措置地域との往来はしないでください。
- 5月は「県外往来」も感染拡大の起点となりました。
今はどうか、控えるようにしてください。
- さらに、県内移動について広島市, 東広島市, 廿日市市との
行き来は十分に注意してください。
- また、同居家族以外との食事は
飲食店や家などの場所に関わらず、やめてください。
- なお, 3市においては
飲食を主とするお店でのカラオケ利用はやめてください。

県民への要請③

- ・ 普段なら病院に行こうと思わないような軽い症状でも違和感を感じたらすぐに医療機関へ
- ・ 無症状でも、気になる場合はPCRセンターを積極的に利用

19

- 鼻づまりや喉の痛みなど、普段なら病院に行こうと思わないような軽い症状でも、違和感を感じたらすぐ、医療機関を受診してください。
- 無症状でも気になる場合は迷わず検査をお願いします。県内6カ所のPCRセンターに加え、広島駅、流川などの臨時スポットも開設しています。
- 感染経路の早期遮断が、減少スピードを加速させますので積極的に検査を受けてください。

事業者への要請

- ・事業所PCRの対象となった際の幅広い検査への協力
- ・職場への出勤者を7割削減
- ・徒歩・白転車通勤, 時差出勤など, 通勤時の人との接触を減らす
- ・広島市, 東広島市, 廿日市市は, 20時以降の勤務の抑制
※ただし社会機能維持に従事している方を除く

- 事業所には, ご覧のことを要請します。
- 特に, 事業所PCRの対象となった際は, 幅広い検査へ協力してください。
- 早期に陽性者を見つけることで, 結果的に周りへの拡がりも最小限で抑えられると考えています。

従業員を守るためにも積極的に協力をお願いします。

- 出勤者7割減も継続して要請します。
- 3市の事業所は, 20時以降の勤務の抑制をお願いします。

この期間で徹底的に抑え込む

⇒低い水準をキープして

今後の再拡大を防止

あなたの健康をみんなで守る。
みんなの健康をあなたが守る。
「広島一丸」で今、できることを。

21

- 繰り返しになりますが、
早く行動制限を解除するためには
感染を徹底的に抑え込む必要があります。
- そして、安定的に低い水準をキープすることで
この先のリバウンドによる再拡大を防止して
早く日常生活を取り戻したいと考えています。
- そのために、全員が今、出来ることは外出の半減です。
- 県民一丸、力を合わせて今しばらく共に頑張りましょう。

ワクチン接種の加速

市町と連携し、

- ・広島市福山市に設置の大規模接種会場の効果的な運営
- ・職域接種の相談窓口を6月16日(水)に開設する など、

一日でも早く多くの方へ接種できるように
機動的に対応し、最大限加速する

22

- 最後に、安定的に日常生活を取り戻すため、大きなカギとなるワクチン接種についてです。
- ワクチン接種の早期完了に向けて、刻々と変化する状況に柔軟に対応できる体制を整えました。
- 引き続き市町と連携しながら、大規模接種会場の運営や職域接種のための相談対応などを行っていきます。
- 1日でも早く一人でも多くの方が接種を受けられるよう、全庁一体となって、全力で新型コロナ対策に取り組んでまいります。